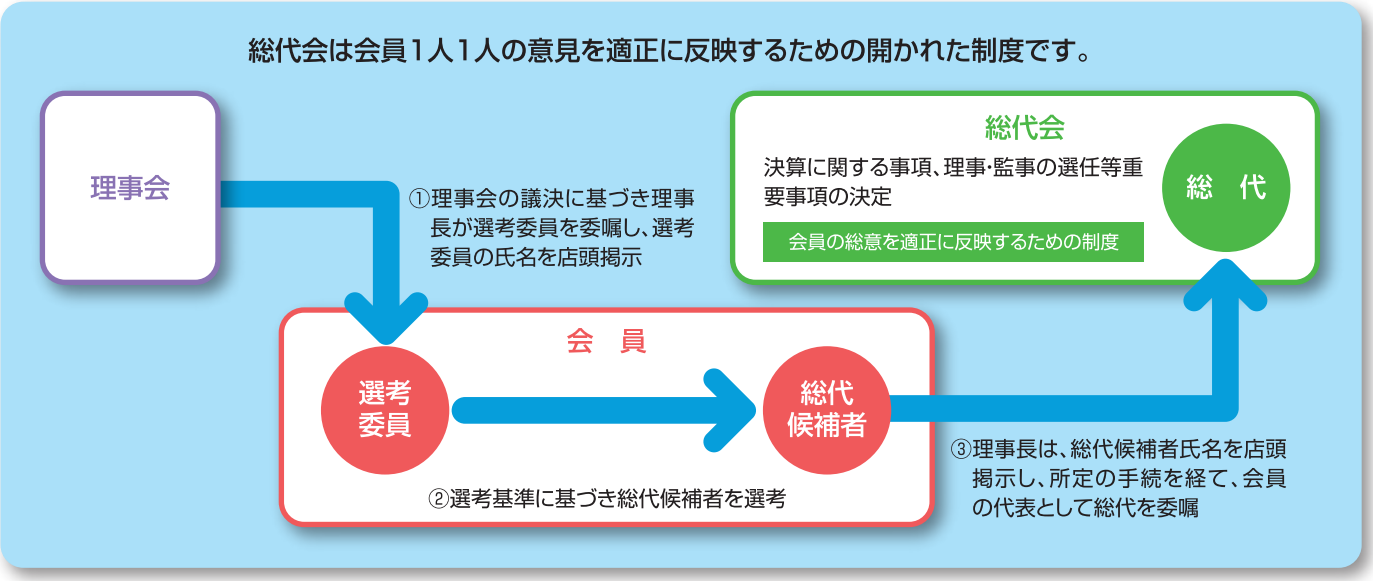
●総代について

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人1人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続により選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取組んでおります。



総代とその選任方法

①総代の任期・定数

・総代の任期は3年です。

・総代の定数は、80人以上110人以下で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。なお、平成23年3月31日現在の総代数は80人で、会員数は13,070人です。

②総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準<※1>に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

(1)会員の中から総代候補者選考委員を選任する。

(2)その総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。

(3)その総代候補者を会員が信任する(異議があれば申し立てる)。

<※1>総代候補者選任基準

①総代としてふさわしい見識を有している者。

②良識を持って正しい判断ができる者。

③その他、総代選考委員が適格と認めた者。

選任区域	会員数	うち総代数
1　区	2,085	15
2　区	2,766	16
3　区	2,221	14
4　区	3,354	21
5　区	2,308	14
その他	336	0
合　計	13,070	80

第61期通常総代会の決議事項

第61期通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれの原案のとおり了承されました。

【報告事項】

第61期業務報告、貸借対照表及び損益計算書の内容報告の件

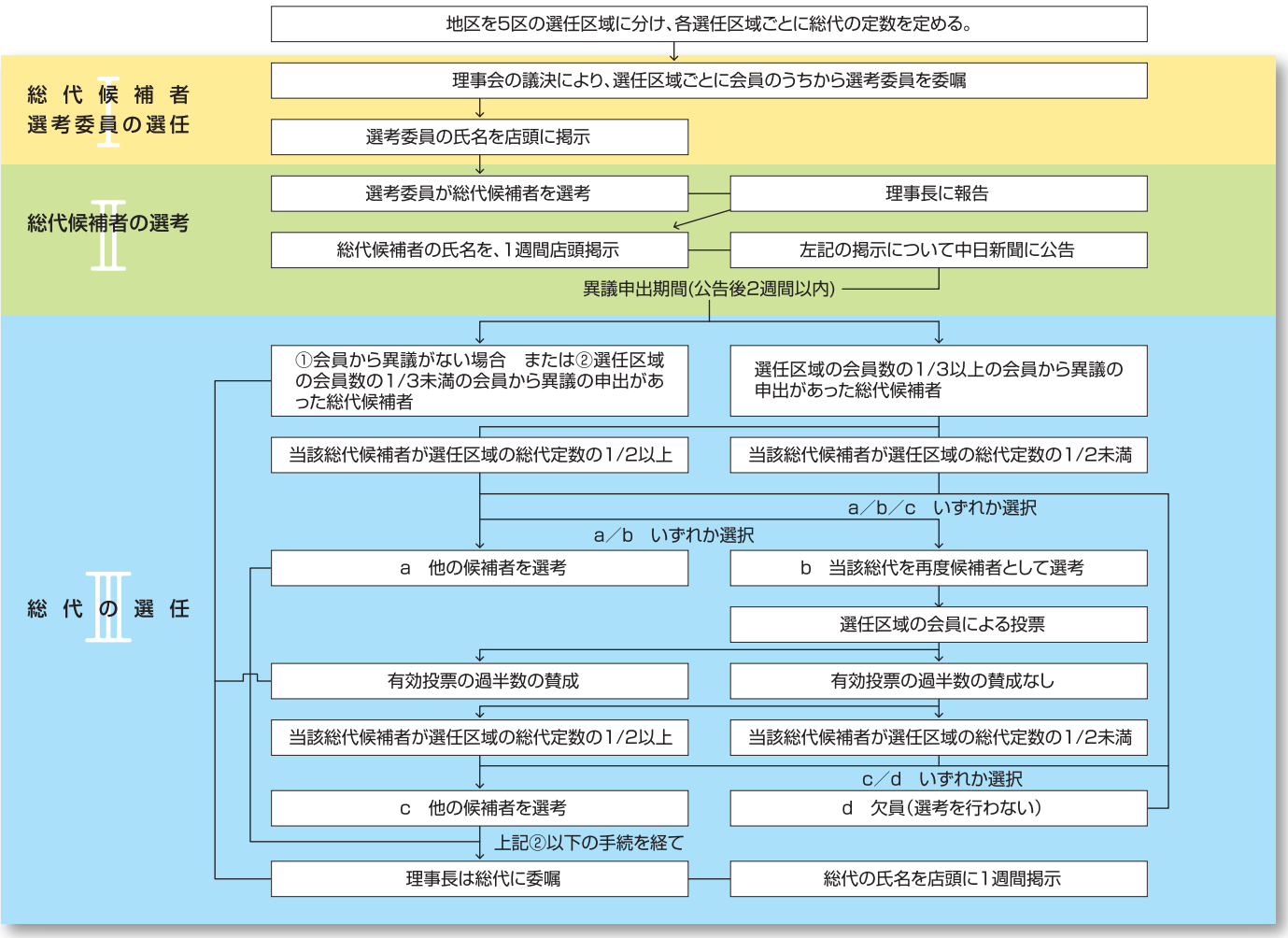
【決議事項】

第1号議案：剰余金処分案承認の件

第2号議案：理事の選任の件

第3号議案：退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

総代が選任されるまでの手続について



総代のみなさま　80名　敬称略　五十音順　平成23年3月末日現在

第1区　中区・東区・北区・熱田区

● 小川　明　● 木村　富雄　● 木村　幸正　● 後藤　保正　● 高山　純一　● (株)宝建材製作所　● 田中　豊一郎
● (株)テイクロ　● 天狗罐詰(株)　● 服部　宏　● 林　武彦　● ヒサゴオフィスサービス(株)　● 下岡　寛　● 森　武
● (株)川本第一製作所

第2区　千種区・昭和区・名東区・天白区・守山区・春日井市・小牧市・尾張旭市

● 池田　達彦　● 鹿嶋　隆男　● 加藤　弘子　● (株)セーシン　● 高橋　克　● 田中　清夫　● (株)中村
● (資)中村木型製作所　● 成田　豊　● 服部　勝之　● 久田　錦三　● 古田　明　● (資)名和木型製作所　● (株)リブライト
● その他2名

第3区　中村区・西区・稲沢市・岩倉市・西春日井郡・清須市・北名古屋市

● 種田　健司　● 大島　浩嗣　● 奥村　勝　● 魁盛堂(株)　● キド車輌工業(株)　● (株)小鹿建設　● 笹原　英雄
● 佐治　孝郎　● (株)シマウマ　● 髙桑　秀幸　● 田中　正博　● 松浦　英一郎　● (株)ヤマトヤ　● 吉田　治伸

第4区　瑞穂区・南区・緑区・大府市・豊明市・東海市・日進市・刈谷市・知立市・豊田市・みよし市・愛知郡

● 飯島　昇　● 北川　ふさ子　● 久野金属工業(株)　● 近藤　吉雄　● 桜軽金属工業(株)　● 真田　信松　● (株)三愛工業所
● 中央化工機(株)　● 中村　保　● 中村　友紀　● 名古屋メタリコン工業(株)　● 原　正克　● 藤巻　武利　● (株)豊正産業
● (株)丸福　● 山口　隆　● (有)山田工作所　● 米田　亙　● 鈴木　岩夫　● 鈴木　孝美　● 佐藤　純雄

第5区　中川区・港区・津島市・蟹江町・大治町・あま市・愛西市・弥富市・十四山村・飛島村

● 伊藤　孝文　● (株)永代　● 加藤　銑一　● 木村　秀夫　● 鈴木　幸安　● 谷口　仁志　● 中部鋼材(株)
● 中島　隆夫　● 成田　彦市　● 土方　一久　● (株)武藤製作所　● 安井　肇　● 矢野　惠　● 山内　悦哉